

# AEDを使用した心肺蘇生法の手順

## ① 意識の確認



軽く肩を叩き「大丈夫ですか」と強く呼びかける

## ② 救助の要請

意識がなければすぐさま救助を要請する

大声で

「だれか来て」

「救急車をお願いします」

「AEDを持ってきて」



## ③ 呼吸の有無の確認



気道を確保して、胸の動きを目で見、呼吸音を耳で感じて呼吸の有無を確認する

**呼吸確認には10秒以上かけないように**

### ※気道確保（頭部後傾あご先挙上法）

片方の手を額に当て（小指球を使い指を自由に動かせる状態を保つ）

他方の手であごを上を上に引っ張り上げるように頭を後ろに傾ける

## ④ 呼吸がなければ直ちに胸骨圧迫（心臓マッサージ）



●速さ 1分間に100～120回のテンポ

●強さ 胸が約5cm沈む強さ

●回数 30回（声を出して）

●圧迫点を正しく（左下に解説）

●両手を組み上げ肘を伸ばし母指球で圧迫する

**強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を。**

## ⑤ 人工呼吸



人工呼吸ができる場合は、30：2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える。

気道を確保した状態で鼻をつまみ、1回の吹き込みに1秒かけて、2回続けて少し胸が膨らむ程度息を吹き込む。**（できなければ省略してもよい）**

## ⑥ AEDが到着するまで④と⑤を繰り返す

## ⑦ AEDが到着



○電源を入れる

●電極パッドを装着

隙間がないか、衣服やアクセサリに触れていないか、ペースメーカーが皮下に装着されていないか濡れていれば水分を拭き取る

○患者に触れないように指示

●ショックボタンを押す。

### ④の胸骨圧迫の位置：

人差し指と中指で傷病者の肋骨下縁に沿って中心部まで動かす。肋骨の合わさる点（剣状突起と胸骨の接合部）に中指を置く。中指の横に人差し指を置き、さらにその横に他方の手首の付け根（手掌基部）を平行に置く。

両手を組み上げ、肘を伸ばして真上から手首の付け根、親指側（母指球）で圧迫する。

## ⑧ 救急車が到着するまで、AEDの音声ガイダンスに従い心肺蘇生を継続する